

### 平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	made in なかがわ テント市による村おこし
事業主体 (連絡先)	中川村商工会 上伊那郡中川村大草4033-1
事業区分	⑥オ その他地域の特色、個性を活かした産業振興、雇用拡大に資する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,885,734円 (うち支援金: 1,278,000円)

#### 事業内容

- ・テント市の開催  
10月27日に村内外の方が15店出店し、地域おこしへの関心をもってもらい交流を図った。
- ・テント等の貸し出し  
テント市での使用のみならず、地域団体のイベントや行政への貸し出しを行った。
- ・イベントが行われたことによる相乗効果  
新たなイベントが開催されることは、地域の賑わいを創出となり、販売の機会となった。
- ・テント市、テント等貸し出しの宣伝  
テント市出店のチラシ、ポスター、貸し出しチラシを作成し、村内外へPRすることができた。



【 テント市 】

#### 【目標・ねらい】

- ① テント市を開催し地域の魅力を発信
- ② テント等を貸し出しにより、地域活性化のイベント、災害支援、教育に活用
- ③ ①②により商工会を知ってもらい独立を考えている人の力になる

#### ※自己評価【B】

#### 【理由】

- ・商工祭に予定より多くの方が出店してくれた。
- ・テント等の貸し出しについては、周知徹底が遅く、目標より貸し出し回数が少なかった。

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ・テント等の貸し出し  
中川村内の主要なイベント等へ貸し出しを行ったことで、テント等の貸し出しを行っていることを周知でき、貸し出しにもつながった。
- ・テント等の貸し出しによるデータ取得による分析  
初年度のため、貸し出しデータを取得することにとどまったが、貸し出し表を作成することにより、分析するデータを取得することができた。
- ・テント等の貸し出しによる交流人口の増加  
テント市では、小規模ながら個性的な商品も持った人、農家の方など異業種の方と交流が生まれた。

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

テント市の出店者が予定していた数以上の出店によりテントが不足した。テント市を開催したことにより、備品に不足が生じたので、必要備品を購入したい。引き続きテント市が開催することをあわせて周知し、参加できなかった出店者を増やし、また来場者数も増やしていきたい。テント等の備品の貸し出しへの、周知徹底が遅れたので、来年度以降借りたいという問い合わせも多数あるので、事前に声がけをして、積極的に貸し出しをしていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある